

非連続の改革 未来創る

大日本印刷^⑩

挑戦
する企業

「材料から設備まで多くの企業と協働したモノづくりだ。皆の支えがあつてこそこのナンバードン」。大日本印刷（DNP）執行役員の富沢伸行は感謝する。同社はディスプレイ表面用の反射防止・防眩（ぼうげん）フィルムと、有機ELディスプレイ製造用のメタルマスクで世界トップシェア。他社と共に創し、顧客の期待に応え続けた技術力が世界最先端の開発依頼を呼ぶ好循環を形成している。真摯（しん

光学フィルム・メタルマスク協働

し）なモノづくりで今後一番を走り続ける。
高精細を実現

DNPは1958年のブラウン管用シャドーマスクの開発に始まり、次世代ディスプレイの転換点ごとにコア部材を提供

インアップを持つ。顧客の要望に応じた塗工材料の迅速な開発から大型品の生産、一度に3層をコーティングできるインライン設備の開発・導入など多様な観点で競争力と品質を磨き続けている。スマートフォンの有機

確立。顧客と共に市場を立ち上げ、高精細な有機ELディスプレイの実現に貢献した。
中国対策がカギ
世界トップシェアの維持には、ディスプレイ国産化を推進する中国への

真摯なモノづくりで快走

してきた。

光学フィルムは液晶ディスプレイの伸長を見据えて95年にプロジェクトが始動。96年に岡山工場（岡山市北区）で量産体制を整備し、事業が本格化した。現在は基材フィルムと塗工材料の掛け合わせで100種類以上のラ

ELディスプレイ製造向けメタルマスクは2007年に開発開始。材料となる数十μm（マイクロ）は100万分の1の厚みの金属板を他社と共同で改良したことに加えて、同板に数μm精度の孔を無欠陥で数千個開ける量産技術をDNPが

料開発などで対抗する。「ハイエンドからローエンドの全領域で戦い、成長と維持を両立する」（富沢）。

富沢は「皆の努力が高精度ディスプレイの実現に貢献してきた。今後も製品を通じて快適さを提供し、生活者の皆さんを笑顔にしたい」と展望する。（敬称略）



DNPはディスプレイ表面用の反射防止・防眩フィルムと、有機ELディスプレイ製造用のメタルマスクで世界トップシェア
▲フィルムに対応可能な生産ラインを9月に稼働。メタルマスクはタブレット